

「あけましておめでとうございませす」という新年の挨拶で、新しい年が始まりました。今年も一年間、健康で心豊かな毎を送りたいですね。

さて、新年に限らず普段も人と最初に出会ってまずすることは、万国共通に、挨拶です。そう考えると、挨拶は、コミュニケーションの入口です。そして、挨拶を含め言葉は、コミュニケーションをとるときの大切なツールになります。言葉だけだとコミュニケーションが100%とれるとは思いませんが、人と人とのコミュニケーションにとって、なくてはならないのが言葉です。

たった一つの言葉で、人はうれしくなったり、勇気づけられたり、心が温かくなったり、逆に、悲しくなったり、嫌な気持ちになったり、落ち込んだりします。普段私たちが何気なく使っている言葉には、不思議な力が潜んでいます。

よく言われるように、人は一人では生きていきません。私たちは、家族をはじめ地域、学校、社会の中で、人と関わりながら生きています。あなたと私、友だちと自分、親と子、先生と生徒、夫と妻、上司と部下というように。その中で、言葉を通して意思の疎通がスムーズにいくか否かによって、お互いの関係がうまくいくか気まづくなるかが決まっています。

ます。言葉をかけたとき、かけられた相手がどう感じるかは相手の価値観にゆだねられるからです。ですので、言葉には相手を思いやる心が込められていなければ意味がありません。「分かってもらえない」とか「伝わらない」と感じたとき、思いやる心が込められていたか、また、自分の言葉に足りなかったもの(表情・態度・雰囲気など)は何だったのかを、考えることが大事です。

子どもたちが言葉の技能を身につけていく過程では、親をはじめ身近な大人が使っている言葉が手本になることが多いです。ですから、大人としてどんな言葉づかいをしたらいいのか、子どもたちにもどんな言葉をかけていくのかを考えながら、子どもたちと関わっていくことも大切です。

また、言葉づかいとは心づかいとも言われ、その言葉を発する人の人柄をあらわします。つまり、きれいな言葉はきれいな心から、優しい言葉は優しい心から発せられるのです。子どもも大人も、様々な経験や体験などを積極的にに行い、相手を思いやる心づかいができるように、心を磨いていきたいものです。

連載・青少年健全育成シリーズ 第318回

『コミュニケーションと言葉』

青少年の声かけあいさつ運動の推進
『大人も子どももすすんであいさつをしよう』

毎月第1日曜日は「家庭の日」
毎月第3日曜日は「青少年を育む日」です。
青少年育成都留市民会議編集委員

広報「つる」広告募集！

あなたのお店の広告を広報つるに載せてみませんか？
広報「つる」は、都留市内の各家庭に配布されています
(10,300部発行)ので、多くの方の目に触れます！

問合せ先：総務課 法制広報担当

広告料金

掲載場所	印刷色	金額 / 枠	備考
裏面	カラー	20,570	2カ月掲載
内面	2色刷り	10,280	2カ月掲載

掲載月は、①1・2月②3・4月③5・6月④7・8月
⑤9・10月⑥11・12月の6パターンとなります。

掲載状況は、下記をご参考としてください。

また、詳細につきましては、ぜひお問い合わせください。

広告掲載欄

広告掲載欄